

いよいよ始まる全国がん登録

全国がん登録データセンター準備室

国立がん研究センター がん対策情報センター



1. 全国がん登録データセンター準備室

全国がん登録データセンター準備室は、2016年1月から始まる全国がん登録が円滑に開始されるための整備を行うために、平成26年度に「がん登録等の推進に関する法律」に基づく厚生労働大臣からの委任・委託を受けて国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部内に立ち上がりました。現在、西本寛室長の下、佐藤直行室長補佐、柴田亜希子、松田智大、新野真理子、名畑里香、西川由美、近藤誓哉が勤務しています。



全国がん登録データセンター準備室員

2. いよいよ始まる全国がん登録

今までの地域がん登録制度では、住んでいる都道府県以外の医療機関で診断・治療を受けた人、県を異動した人の重複登録や、医療機関からの届出漏れによって正しい情報が把握できないことが指摘されていました。そこで、国は法律を整備し「全国がん登録」制度と呼ばれる新しい仕組みをつくりました。全国がん登録は、がん患者さんの情報を収集・整理し、将来のがん治療やがん対策の発展につなげ、がんで亡くなる方を減らしていくことを目的とした国の制度です。法律施行後は、診断から2年のうちに正確ながんのデータを集めることが求められます。

3. 業務内容についてのご紹介

全国がん登録データベースシステムの開発は、富士通株式会社と共に行っております。がん登録推進法で決められていることができて、地域がん登録標準データベースシステムの易操作性を引き継ぎ自動化を取り入れた、より効率的なシステムとなる予定です。平成26年度には、4県から顕名情報の提供を受け照合ロジックの検証を行い、また7道府県の死亡情報確認業務を行いました。現在は本番に向けて、全国がん登録データベースシステム稼働の最終検証作業中です。合わせて都道府県がん登録室の為のシステム運用マニュアルを作成しています。

「全国がん登録」をより多くの方々に知っていただくための広報も行っています。昨年度末に公開された新サイト「サ

キュバトン」は、全国がん登録に関する詳細な解説はあえて掲載せず、がん患者さんや医療関係者だけでなく、より多くの皆さんにがん登録を知っていただくきっかけを



富士通(株)とのシステム開発会議の様子

目指して作成しました。全国がん登録の簡単な説明、全国がん登録を紹介するインフォグラフィックス、家族や友人・仕事仲間などへ感謝のメッセージを伝えるイベントの様子を収録した動画、イベントに参加した皆さんからの感謝のメッセージ等を掲載していますので、ぜひホームページ(<http://39baton.ncc.go.jp/>)にアクセスしていただきたいと思います。国立がん研究センターでは、がん情報提供サイト「がん情報サービス」等を通して、全国がん登録の情報を広く発信しておりますので、こちらも合わせてご覧下さい。

当準備室は、がん統計の整備に努めてきたがん統計研究部の地域がん登録室、院内がん登録室と車の両輪のように活動しています。特に、地域がん登録室のがん政策研究事業松田班の「全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ)」では、全国集計と地域がん登録の標準化のための支援をしています。また年に数回、研究者会議および都道府県の地域がん登録担当者会議を開催し、情報の提供と意見交換を行っています。同じ部のがん統計チーム(石川ベンジャミン光一室長、片野田耕太室長、雑賀公美子研究員、堀芽久美研究員)や院内がん登録チーム(江森佳子、中野かおり)、さらに、地域がん登録全国協議会の事務職員である太田樹里と同室で仕事をしていますので、がん登録関連業務について意見を交換し、協力して取り組んでいます。

4. 最後に

全国がん登録データセンター準備室では、今後も都道府県における全国がん登録開始に関わる整備や都道府県データベースへのデータ移行に関しての支援を行ってまいります。多くの地域がん登録の行政担当や実務者の方と一緒に仕事をしているつもりで日々の業務を行ってまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。